

かりの光昭

みつ あき

活動レポート No.24

スピード
誠実
実行



お気軽にご相談下さい
弁護士の無料相談が
うけられます

かりの光昭 連絡事務所 / 〒973-8402 いわき市内郷御厩町4丁目2

TEL: 0246-27-8700 FAX: 0246-27-0448

E-mail karino@karino-m.jp ホームページ <http://karino-m.jp>

フェイスブック 狩野光昭/フェイスブック

現住所 いわき市石森二丁目2の11 携帯: 090-7564-3253

いわき市議会 6月定例会 (6月7日~6月21日)

プロフィール

- 1952年北茨城市磯原町木皿の狩野菓子店(現:狩野食堂)に生まれる
- 磯原高校・立正大学文学部・福島大学経済学部・福島大学行政社会学部卒業
福島大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 国鉄労働組合水戸地本福島支部から全建総連福島に勤務後いわき市議

全ての保育室にエアコンが

私は、毎年6月の定例会で、熱中症対策として市の施設にエアコン設置を要望してきました。その結果、各支所や学校給食共同調理場などにエアコンが設置されました。



今回の市立幼稚園・保育所のエアコンの整備状況の質問に、「全保育室へエアコンを整備します。今年度は平・勿来・常磐・内郷地区を、その他の地区は次年度で整備に向け取り組みます」と答弁。

市立公民館のエアコン整備状況の質問にも「全36館中28館でエアコンを設置。今後も更なる環境整備に努めます」と答弁。

小・中学校普通教室にエアコンを!

県内他市で、普通教室にエアコンを設置していないのは、いわき市も含め3市のみとなりました。授業に集中できる環境を整えるためにも、市立小・中学校普通教室にエアコンを整備すべきではとの私の質問に「当面は、すべての保健室に整備したエアコンの活用状況等を注視する考え」と答弁。

学習環境の向上やカビ防止の対策による健康の面から、早急にエアコンを整備することを再度強く要望しました。

国保税引き下げ 1世帯当り1,300円

国民健康保険税条例等の改正は、国保に加入している約4万4千世帯全てを対象に、1世帯あたり平均約1,300円引き下げ見込みの一方で、課税限度額は4万円引き上げで93万円となる内容。また、白水小学校が生徒人数の減少により来年4月1日から廃校とする議案などが提案され、全会一致で可決されました。

小中学校と一体型の 豊間保育園が開園

私の「豊間保育園の効果は?」の質疑に「園児は上級生に対する期待や不安感を軽減することができ、上級生は年下の子どもへの思いやりの気持ちをもって接することができる」と答弁。

所長や保育士が多忙ななか、園児と接する時間をより確保するため、事務の軽減化と保育士の配置の充実が必要となっています。

3歳児健診 視力専門機器を用いて 弱視(遠視・近視・乱視等)の早期発見を

弱視は7歳以下に治療を行えば75%以上で視力が向上し、重度の弱視では5歳までの幼児期に治療を開始することが望ましいと言われています。大部分の弱視は3歳児健診で早期発見され、治療すれば、就学前までに治癒することができます。

いわき市の3歳児健診・視力検査での要精検率は1.6%。木村眼科クリニックが、視力専門機器を使用して視力検査での要精検率は9.3%となっています。これらの結果から、市の3歳児健診では発見できない小児弱視が多くいると推測されます。

県内では、福島市・白河市・二本松市で視力専門機器を使用して弱視の早期発見に努めています。いわき市も視力専門機器を使用し弱視の早期発見を行うべきとの私の質問に、「視力専門機器を使用しての視覚検査は有用と認識し、導入している自治体の情報収集を行う考え」と答弁。

実施機関	受診者	要精検数・率
いわき市 (平成28年度)	3歳児健診 2,438人	39件 (1.6%)
Cの指標(ランドルト環)を使い保護者が視力検査を実施		
木村眼科クリニック (平成30年5月)	4歳児検診 172人	16人 (9.3%)
視力専門機器「スポット・ビジョン・スクリーナー」を使い視力検査を実施		

視力専門機器
「スポットビジョン
スクリーナー」



アールイーメディカル株式会社
カタログより抜粋

子どもや高齢者が安心して住みやすいまちづくりを 6月定例会 一般質問・質疑

● 高齢者等へのごみ出し支援を

問 ごみ減量化の取り組みは
答 家庭系のごみは、「ごみカレンダー」の配布や家庭用ごみ処理機等の購入費の一部補助を実施しています。事業系のごみは「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出を求め、排出抑制やリサイクル状況の確認及び指導を行っています。

問 ごみ集積場の設置数は
答 平成29年度は新設が142箇所、廃止が27箇所、総数10,678箇所となっています。

問 ごみ集積所のカラスなどの対策は
答 利用者がボックス等のごみ容器や防鳥ネットで対策を行っています。一部の地区では、ブルーシートとネットを二重に被せたり、目の細かいネットを使用しています。

問 ごみ集積所へ助成金の創設を
答 助成には課題があると認識しております。

問 県内他市における、ごみ出しが困難な高齢者等に対する支援の現況は
答 福島市、白河市、相馬市は職員や収集組合などが個別収集を行っています。

要望 いわき市も戸別収集も含めた、高齢者等へのごみ出し支援を早期に実施して欲しいと要望。

● 子どもの貧困対策の強化を

問 子どもの貧困の実態調査結果から見てきた、本市の貧困世帯の傾向は
答 「地域との付き合いがない」「高校までの進学でよい」と回答した割合が多くなっています。

問 子どもの貧困対策庁内連絡会議で協議されている内容は
答 平成29年度新規事業として「子ども学習支援事業」「未来につなぐ人財応援事業」、平成30年度の新規事業として「みんなの居場所づくり事業」を新たに位置づけたところです。

問 小学校1年生などを対象に全数調査を行い、傾向と対策を図るべきでは。
答 先進事例を参考に調査・研究する考えです。

要望 効果的な政策を立案する場合は、できるだけ正確な実態把握が基本となっています。継続的な全数調査の実施を要望。

問 生活保護費見直しによる影響は
答 本年4月1日現在の3,244被保護世帯で試算したところ、生活扶助基準額が上がる世帯が38.7%、変わらない世帯が11.6%、下がる世帯が49.7%と推計していますが、児童養育加算の対象者拡大等もあり、扶養費総額としては、微増となる見込みであります。

この間の取り組み



リアルタイム線量測定システムの継続配置を(4月16日)
 原子力規制委員会に対し、「いわき市民は継続配置を強く望んでいる」と発言し、撤去の見直しを要請。



福島県難病団体連絡協議会総会(5月12日)
 医療的ケア児童が通常学級で授業を受けられるために、施策の充実を訴えました。



法政大学大原社会問題研究所(5月21日)
 榎田民蔵(小川出身：経済学者)の蔵書が保管されている同研究所を視察。榎田氏の働く者の経済研究業績を広めます。



下平窪高齢者見守り隊(5月26日)
 約70人もの参加者と、隣組の皆さんと助け合うことが安心のまちづくりにつながることを確認しました。



いわきウイング寿会(6月1日)
 建設組合の高齢者で結成している寿会会員とともに、ボランティアによる公園清掃を毎年実施しています。



いわき子ども祭り(6月10日)
 いわき鳴き砂を守る会員として、好評の砂絵を指導。多くの子どもが楽しんで参加していました。



総合図書館「健康・医療情報コーナー」(6月26日)
 私が議会で質問した、同コーナーがオープン。医療関係5,800冊の図書・雑誌を配架。



憲法を守ろう！いわき市民集会(6月27日)
 「働き方改革法案」の高プロは残業ゼロ・過労死促進の内容で、廃案を訴えました。

ほうもん記

原子力規制委員会は学校などに設置したリアルタイム線量測定システムを、線量が低くなったため撤去するとの方針を発表。「モニタリングポストの継続配置を求める市民の会・いわき」は、6月定例会に、大切な子どもたちを守るために、「いわき市としてリアルタイム線量測定システムの継続配置の意思表示を正式な文書で関係機関に提出すること」の請願書を提出。私が所属する「創世会」は、国に対して継続配置を求める意見書案を提出。両案とも全会一致で採択されました。これから市民説明会が開催されますが、廃炉作業が終わるまでは、子どもの安全を守るために、継続配置を強く求めていかなければなりません。